

開 拓 ～本領に生きる～

令和7年1月27日

お知らせ ～ 今治市が第13回「住みたい田舎ランキング1位」に ～

宝島社「田舎暮らしの本」2025年「住みたい田舎ベストランキング」において、今治市は、「人口10万人以上20万人未満」の都市部門において、3年連続全部門（総合部門、若者世代・単身者部門、子育て世代部門、シニア世代部門）1位に輝くことになりました。

今治市の魅力としては、以下(株式会社 宝島社プレスリリースから引用)のようなものが挙げられています。

- 瀬戸内海の美しい島々や世界的な海事都市など様々な顔を持つ。観光業、農業、工業など、多様な仕事のチャンスあり。
- 交通の便がいい。「しまなみ海道」により、架橋の島々や本州との行き来が車で可能。最先端のモビリティも運行中。
- 子育て支援が充実。今治版ネウボラのほか、子どもの発達に合わせた公園づくりや、二拠点教育が可能なデュアルスクールも。

3 学期スタートに当たって ～ 始業式校長式辞より ～

3学期は、今の学年の仕上げの学期であり、次のステージへ進むための準備をする学期でもあります。3年生にとっては、中学校生活の総まとめをする大切な期間です。4月には2年生は「最上級生」に、1年生は「新入生の先輩」になります。自分たちが中心となって、立派な大西中を創り上げることを自覚し良い準備をしてください。

詩人の坂村真民という人の詩の一節に「念ずれば、花開く」という言葉があります。「念ずれば、花開く」とは、ただ念じていれば、じっとお願いをしていれば、夢が叶うという意味ではありません。この言葉の本当の意味は、何事も一生懸命に祈るように努力をすれば、おのずから道は開ける、夢や目標が叶う、という意味です。また、「念」という字を分解すると「今」と「心」になります。これは「今、目の前にあることを一生懸命やること」を表しています。「念ずれば 花開く」という言葉の裏には、「今」を大切に生きないと、花は開かないという意味があるのだと思います。「今」をいい加減に生きると、次の瞬間もいい加減なものとなり、いい加減な生活しか送れないことになってしまうのではないのでしょうか。

皆さんは、年が改まり、充実した1年を送ろうと新たな目標や思いを持って、今日の日を迎えたことと思います。目標や思いを実現するために、粘り強く努力し、道を切り開いていってください。

1/8 第3学期始業式

1月8日(水)、第3学期始業式を行いました。式の中で各学年の代表者が決意の言葉を述べました。3年生は、「1年生からの学習の積み重ねが進路選択に生きること」「残りの中学校生活を自分が納得できるような生活すること」、2年生は、「3学期を3年生の0(ゼロ)学期と捉えて、新年度の準備すること」、1年生は、「部活動で県大会出場を目指すこと」「毎日の学習習慣を身に付けること」「自分のやるべきことをきちんと果たすこと」などを力強く述べました。これまでの諸先輩方が守り、築いてきた伝統を引き継ぎ、活力のある大西中学校をつくってほしいです。

入賞おめでとうございます！

- 第48回全日本アンサンブルコンテスト愛媛県大会東予西地区予選 銀賞 管打七重奏
銅賞 管楽四重奏
- 令和6年度防火防災に関する作文コンクール 最優秀賞 1年男子